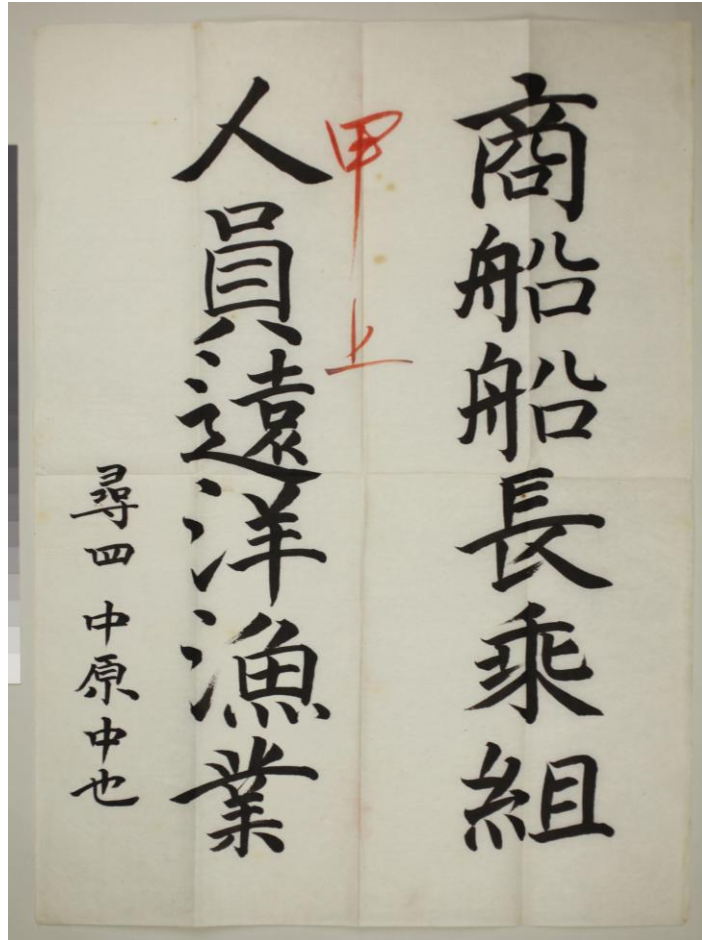


報道資料

令和7年12月23日

1 件 名	特別展示 初公開 新発見資料 中原中也の習字
2 期 日	令和8年1月4日(日) ～ 1月12日(月・祝) ※休館日の1月5日(月)を除く
3 場 所	中原中也記念館
4 内 容	<p>2025年、吉田瀬生(よしだひろお)氏(1930 - 2000)のご遺族より、当館に中原中也の習字「商船船長乗組人員遠洋漁業」をご寄贈いただきました。</p> <p>このたび、新春にちなんで、中原思郎の書簡とともに初公開いたします。</p>
●中原中也(1907-1937)●	
	<p>山口市湯田温泉生まれ。詩人。</p> <p>幼い頃は短歌に親しみ、その後、高橋新吉や富永太郎の影響を受けて、詩人としての道を歩み始める。上京後、小林秀雄、河上徹太郎、大岡昇平らと交友。1934年、第一詩集『山羊の歌』を出版。</p> <p>1937年、山口への帰郷を願いつつ、鎌倉の地にて30歳で没する。1938年、友人たちにより第二詩集『在りし日の歌』出版。</p>
◆新発見資料とは?◆ これまで、その存在を知られていなかった資料で、調査・研究の過程や関係者からの情報・資料提供により発見される資料のことです。資料そのものの真偽、年代の調査などを経て、公開されます。	



2025年、吉田瀬生〈よしだひろお〉氏(1930 - 2000)のご遺族より、当館に中原中也の習字「商船船長乗組人員遠洋漁業」をご寄贈いただきました。

吉田氏は中原中也の研究者として知られ、第三次・第四次の『中原中也全集』の編集にも尽力されました。この習字には、中也の弟・中原思郎からの書簡が添えられており、第三次『中原中也全集』(全5巻+別巻1、1967-1971年、角川書店)完成の折に、感謝の意を込めて贈られたものであることが分かります。

習字は中也が小学校4年生の時に書いたもので、これまで存在を知られておらず、大変貴重な資料です。このたび、新春にちなんで、中原思郎の書簡とともに初公開いたします。

【展示資料】

中原中也習字「商船船長乗組人員遠洋漁業」(大正6〈1917〉年(推定))
吉田瀬生宛中原思郎書簡(封書)(昭和46〈1971〉年5月15日)
文部省『尋常小学書キ方手本 第四学年用上乙種』

開館時間 ◎午前9:00～午後5:00(入館は4:30まで)

入館料 ◎一般330円(275円)、大学・高等専門学校の学生220円(165円)、
18歳以下、70歳以上無料 ※()内は20名以上の団体料金

5 主催者 公益財団法人山口市文化振興財団 中原中也記念館

6 問い合わせ 中原中也記念館 〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL:083-932-6430 FAX:083-932-6431(担当:原 明子)